



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

会社名 株式会社 福邦銀行

URL <https://www.fukuho.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 渡邊 健雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 林田 和博

(TEL) 0776-21-2500

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

特定取引勘定設置の有無 : 無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,177	2.5	291	49.9	235	57.3
2020年3月期第3四半期	6,333	4.5	581	18.6	550	4.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 357百万円(71.4%) 2020年3月期第3四半期 1,249百万円(622.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第3四半期	7.54		5.34	
2020年3月期第3四半期	17.66		12.80	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	488,528		20,861	4.3		
2020年3月期	444,328		20,671	4.7		

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 20,861百万円 2020年3月期 20,671百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出してあります。

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期	-	-	-	-	-	-	3	00	3	00
2021年3月期	-	-	-	-	-	-				
2021年3月期(予想)							3	00	3	00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	310	27.0	270	23.3	6.28	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動: 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期第3Q	31,800,000株	2020年3月期	31,800,000株
期末自己株式数	2021年3月期第3Q	611,882株	2020年3月期	610,195株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期第3Q	31,188,938株	2020年3月期第3Q	31,189,805株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	-	-	12.36	12.36
2021年3月期	-	-	-		
2021年3月期(予想)				12.46	12.46

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業的前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
2021年3月期 第3四半期決算説明資料	
1. 2021年3月期第3四半期損益の状況(単体)	6
2. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)	6
3. 連結自己資本比率(国内基準)	7
4. 時価のある有価証券の評価差額(単体)	7
5. デリバティブ取引(単体)	7
6. 預金、貸出金の状況(単体)	7
預金・貸出金の残高(未残)	7
個人・法人別預金残高(未残)	7
預かり資産残高(未残)	8
消費者ローン残高(未残)	8
中小企業等貸出金残高(未残)・比率	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の経営成績につきましては、経常収益は、役務取引等収益が減少したことに加え、前期に貸倒引当金戻入益を計上していた反動により、前年同期比1億56百万円減少して61億77百万円となり、経常費用は、与信関連費用が大きく増加したことから、前年同期比1億33百万円増加して58億85百万円となった結果、経常利益は前年同期比2億90百万円減少の2億91百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3億15百万円減少し、2億35百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の連結財政状態については、総資産4,885億円、純資産208億円となりました。また、主要勘定残高としては、預金4,424億円（前年度末比248億円増加）、貸出金3,173億円（前年度末比109億円増加）、有価証券913億円（前年度末比69億円減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当ありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当ありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	27,553	63,652
有価証券	98,381	91,392
貸出金	306,384	317,371
外国為替	588	4,573
その他資産	7,373	8,129
有形固定資産	4,549	4,446
無形固定資産	1,055	1,009
繰延税金資産	279	244
支払承諾見返	241	195
貸倒引当金	2,079	2,486
<b>資産の部合計</b>	<b>444,328</b>	<b>488,528</b>
<b>負債の部</b>		
預金	417,560	442,437
借入金	-	22,000
その他負債	4,038	1,384
賞与引当金	231	109
退職給付に係る負債	809	786
役員退職慰労引当金	194	196
睡眠預金払戻損失引当金	90	69
偶発損失引当金	63	60
再評価に係る繰延税金負債	427	427
支払承諾	241	195
<b>負債の部合計</b>	<b>423,657</b>	<b>467,667</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	7,300	7,300
資本剰余金	6,256	6,256
利益剰余金	6,657	6,726
自己株式	237	238
<b>株主資本合計</b>	<b>19,977</b>	<b>20,045</b>
その他有価証券評価差額金	12	114
土地再評価差額金	775	774
退職給付に係る調整累計額	93	73
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>694</b>	<b>816</b>
<b>純資産の部合計</b>	<b>20,671</b>	<b>20,861</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>444,328</b>	<b>488,528</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
経常収益	6,333	6,177
資金運用収益	4,374	4,231
(うち貸出金利息)	3,104	3,160
(うち有価証券利息配当金)	1,254	1,045
役務取引等収益	919	764
その他業務収益	572	370
その他経常収益	466	810
経常費用	5,751	5,885
資金調達費用	58	46
(うち預金利息)	52	42
役務取引等費用	598	621
その他業務費用	637	491
営業経費	4,247	4,097
その他経常費用	208	628
経常利益	581	291
特別利益	0	1
固定資産処分益	0	1
特別損失	5	30
固定資産処分損	3	13
減損損失	1	16
税金等調整前四半期純利益	576	263
法人税、住民税及び事業税	12	30
法人税等調整額	13	2
法人税等合計	25	28
四半期純利益	550	235
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	550	235

四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	550	235
その他の包括利益	698	122
その他有価証券評価差額金	683	101
退職給付に係る調整累計額	14	20
四半期包括利益	1,249	357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,249	357
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

該当ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

該当ありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響を含む四半期連結財務諸表の作成に当たって用いた会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定は、当連結会計年度の第2四半期報告書の(追加情報)に記載した内容から変更は生じておりません。

(重要な後発事象)

(当行と株式会社福井銀行の資本提携に係る基本合意について)

当行は、2021年1月14日開催の取締役会において、株式会社福井銀行(以下「福井銀行」といい、当行と福井銀行を総称して「両行」といいます。)との間で、資本提携の基本合意について決議し、同日に基本合意書を締結いたしました。

その主な内容は、以下の通りであります。

1. 背景と目的

両行は、長きにわたり、共に福井県を主たる営業基盤とし、地域のみなさまに支えられながら活動してまいりました。それぞれが「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」、「幸せな人間生活と豊かな社会づくりへの貢献」を理念に掲げるなど、両行は今後においても福井県の活性化をその使命・役割とする地域金融機関であります。

両行相互の強みを活かし、お客さまの成長、発展のため、これまで以上に質の高いサービスを提供していくこと、また目前に迫る地域活性化の機会を最大限に活かし、地域の持続的発展のため、両行が連携、協働していくことを目的に、2020年3月13日に「地域経済の発展に向けた包括提携(Fプロジェクト)」を開始しております。

包括提携に基づく連携、協働を進める中で、両行は、長期的な超低金利環境の継続や人口減少等の構造的な問題に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の継続など、厳しい経営環境の継続を見据え、Fプロジェクトの加速と深化、なかでも業務提携によるシナジー創出の早期実現と効果の最大化に向けた取り組みの加速のためには、資本提携の早期実現に向けた検討を進めることが必要であるとの認識を共有し、今回基本合意に至りました。

2. 契約の内容

両行は、当行が公的資金の返済を前提に、第三者割当の方法により、発行価額総額50億円(予定)で、福井銀行に対して普通株式を割り当てる方針につき基本合意しております。具体的な発行条件等については、今後協議する予定です。

なお、本引き受けにより、当行が福井銀行の子会社となるか否かについては、現時点で未定です。

3. 今後のスケジュール

2021年5月中旬	最終契約の締結
2021年6月下旬	第三者割当に係る当行の定時株主総会(又は取締役会)の開催
2021年7月以降 (2021年度中)	第三者割当に係る払込期日

(注)なお、上記スケジュールは、各社において必要な株主総会・取締役会の機関決定および関係当局への届出、許認可の取得等を前提としております。



2021年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 2021年3月期第3四半期損益の状況(単体)

・本業部分であるコア業務純益については、役務取引等利益の減少等により、前年同期比19百万円減少し、2億5百万円となりました。  
 ・経常利益は、コア業務純益の減少に加え、与信関連費用の増加等により、前年同期比2億81百万円減益の2億99百万円となりました。  
 ・四半期の最終損益は、経常利益の減少により、前年同期比3億7百万円減益の2億43百万円となりました。

	2021年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)(A)		2020年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)(B)		前年同期比 (A) (B)		2021年3月期 通期業績予想 (12ヵ月間)
経常収益	6,113		6,265		152		
業務粗利益	4,158		4,515		357		
資金利益	4,177		4,309		131		
役務取引等利益	101		271		169		
その他業務利益 (うち債券関係損益)	121 60		65 116		56 177		
経費(除く臨時処理分)	4,012		4,173		160		
人件費	1,928		2,037		109		
物件費	1,830		1,899		68		
税金	254		236		17		
一般貸倒引当金繰入額	126		-		126		
業務純益	18		342		323		
コア業務純益(注2)	205		225		19		
コア業務純益(除く投信解約損益)	60		153		93		
臨時損益	281		238		42		
うち不良債権処理額	279		-		279		
うち貸倒引当金戻入益	-		229		229		
うち偶発損失引当金戻入益	3		5		2		
償却債権取立益	21		0		21		
(与信関連費用 + - - -)	381		234		616		
うち株式等損益(3勘定戻)	654		21		632		
経常利益	299		580		281		310
特別損益	28		5		23		
税引前四半期純利益	271		575		304		
法人税、住民税及び事業税	30		11		18		
法人税等調整額	2		13		16		
四半期純利益	243		550		307		270

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 債券関係損益

2. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

	2020年12月末		2020年3月末
	2020年3月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,450	92	1,542
危険債権	7,956	908	7,047
要管理債権	2,708	424	3,132
合計	12,115	392	11,722
不良債権比率	3.81%	0.01%	3.82%

(注) 1. 上記の当四半期末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリー(以下「開示区分」という。)により分類しております。  
 2. 上記計数は、部分直接償却後の残高を記載しております。  
 ただし、当四半期末の計数については、新たに無価値と認められる部分についての部分直接償却は減額しておりません。  
 3. 上記開示区分の金額は、当行の定める資産の自己査定基準に基づき、当四半期末を基準日として実施した自己査定の際債務者区分に基づく残高を計上しております。  
 開示区分と自己査定の際債務者区分との関係  
 ・破産更生債権及びこれらに準ずる債権(実質破綻先、破綻先の債権)  
 ・危険債権(破綻懸念先の債権)  
 ・要管理債権(要注意先のうち、元本又は利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

3. 連結自己資本比率（国内基準）

	2021年3月末（予想値）	2020年3月末（実績）
連結自己資本比率 （パーゼル・国内基準）	7.6%程度	7.61%

（注）上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

4. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

評価差額	2020年12月末				2019年12月末				2020年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	89,674	164	2,501	2,337	89,879	2,866	3,379	513	97,094	24	2,510	2,486
株式	2,374	364	502	138	2,968	866	904	37	2,849	391	619	227
債券	34,132	171	214	42	34,299	422	442	20	34,796	193	265	71
その他	53,167	371	1,785	2,156	52,612	1,577	2,032	454	59,448	560	1,626	2,186

（注）1. 各四半期末の「評価差額」および「含み損益」は、各四半期末の帳簿価格（償却原価法適用後、減損処理後）と評価との差額を計上しております。

2. 子会社株式で時価のあるものはありません。

5. デリバティブ取引（単体）

デリバティブ取引については、開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略します。

6. 預金、貸出金の状況（単体）

預金・貸出金の残高（未残）

（単位:百万円）

	2020年12月末			2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比	2019年12月末比		
預金	442,623	24,881	18,027	417,742	424,596
譲渡性預金	-	-	-	-	-
預金 + 譲渡性預金	442,623	24,881	18,027	417,742	424,596
貸出金	317,172	11,004	11,265	306,168	305,907

個人・法人別預金残高（未残）

（単位:百万円）

	2020年12月末			2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比	2019年12月末比		
個人預金	339,056	7,887	3,738	331,169	335,318
法人預金	96,316	12,506	10,213	83,809	86,102

預かり資産残高(未残)

(単位:百万円)

	2020年12月末		2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比		
公 共 債	6,255	712	1,857	4,398
投 資 信 託	12,254	1,653	1,003	13,258

消費者ローン残高(未残)

(単位:百万円)

	2020年12月末		2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比		
消 費 者 ロ ー ン 残 高	84,839	1,357	1,347	86,186
住 宅 ロ ー ン 残 高	72,509	1,471	1,908	74,417
そ の 他 ロ ー ン 残 高	12,330	114	561	11,768

中小企業等貸出金残高(未残)・比率

(単位:百万円)

	2020年12月末		2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比		
中 小 企 業 等 貸 出 金 残 高	258,161	8,671	11,291	249,490
中 小 企 業 等 貸 出 金 比 率	81.39%	0.09%	0.69%	81.48%